

尾道薪能番組

六時

能「春日龍神」への誘い

仕舞

吉田 潔司

清経 くり

吉田 和史

火入式
狂言

橋本 光史
吉田 潔司
勝部 延和

昆布 売

茂山 良暢

新島 健人

七時頃

仕舞

敦盛 クモ

井上 裕久

船辨慶 くり

吉田 潔司

寺澤 幸祐
宮田 宏之
吉浪 壽晃

能

春日龍神

江崎 敬三

石井 保彦
曾和 尚靖
井上 敬介
左鴻 泰弘

間
山口 耕道

吉田 篤史

橋本 光史
橋本 擴三郎

寺澤 幸祐
浅井 通昭
吉浪 壽晃
勝部 延和
井上 裕久
宮田 宏之

終了 八時頃

附祝言

能は室町時代より続く古典劇です。演者が謡う言葉に囚われないで下さい。六百年も昔の言葉で、解らなくて当然。言葉を理解しようとするのではなく、大まかなあらすじだけを頭に入れて御覧下さい。そして謡や囃子の旋律、また緊迫感を肌で感じて頂きたいのです。同じ日本人が創った劇、何か共感を得て頂けると思います。なお、お客様の静寂が大事な空間を作ります。その為に携帯電話はお切り頂くか、マナーモードに設定して頂きたく宜しくお願い致します。

吉田 篤史

【能「春日龍神」あらすじ】

入唐渡天を思い立った明恵法師(ワキ)が春日明神に参ると、翁(前シテ)が現れ、上人の参詣を喜ぶが、渡天の志を聞くと、この春日の御山こそ霊鷲山であるから、その必要はないと諫める。

それを聞いた上人が、思いとまると、この三笠山に五天竺を移し、釈迦の誕生から入滅までの様子を見せようと言い、自分は時風秀行であると告げて、消失せる。一中入ーやがて、春日の野山は金色の世界となり、下界の龍神(後シテ)が現われ、霊鷲山の會座の光景を示し、上人を再度諫め、猿澤の池に飛び入って失せる。

吉田 潔司

シテ方 観世流準職分
重要無形文化財
能楽(総合指定)保持者
1942(昭和17)年生まれ



- ・幼少より京都にて井上嘉介師、父 吉田佳弘に師事。6歳にて初舞台。同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
- ・昭和47年に独立。石橋・乱・道成寺・砧・求塚・清経(恋の音取)・正尊を開曲。
- ・吉田嘉謡社二代目社主として、平成4年より京都で「花の能」を公演するなどの演能活動の一方で、京都各所・尾道・福山・鞆に稽古場を持ち、謡曲・仕舞の指導を行っている。

吉田 篤史

シテ方 観世流準職分
1974(昭和49)年生まれ



- ・幼少より京都にて井上嘉介師、祖父 吉田佳弘、父 潔司に師事。3歳「鞍馬天狗」花見にて初舞台。同志社香里中・高へ進学、同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
- ・平成13年に準職分を取得し独立。石橋・乱・千歳・道成寺を開曲。
- ・吉田嘉謡社副社主として、平成4年より京都で「花の能」を公演するなどの演能活動の一方で、京都各所・岐阜各所・東京・大阪・福山・広島に稽古場を持ち謡曲・仕舞の指導を行っている。
- ・平成23年に地元 向日市にて、ひまわり栄誉賞を授賞。

吉田後援会ホームページ

<http://www.k5.dion.ne.jp/~hana-noh/>



真言宗泉涌寺派大本山 浄土寺(尾道市東久保町20-28) JR尾道駅よりバスで約6分
※会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

山陽本線「尾道駅」から東行きバスで「浄土寺」下で下車。

